

ACT NEWS

こんにちは、ACTニュース編集部です。あっという間に3月になりました。今年は何かと変更の多い年でしたね。ACTでも内容変更がたくさんありました(笑)。でもそれはそれでおもしろかったり、「ふつう」とか「いつも」って、たっているのが奇跡のペーパータワー(本文ご参照ください)みたいだなあなんて思ったりもします。「日常」って、ふしぎ。

ACT NEWS 第6号 2021年3月発行 発行元：湯河原町教育委員会・特定非営利活動法人 まなびとくらし

ACTってなーに？

前は「他者との比較による自信(=優越感)ではなく、自分への信頼によりGOサインを出し、目の前にあるものに挑み、たとえ失敗しても自分を認めてあげられること」の大切さについて書きました。

今回はACTを実施する私たちのルールについて書きます。それは「各ワークショップにおいてゴールとしての目標を持たせるが、その目標の達成を目的とせず、そこへと至る過程そのものを目的とする」こと。

ACTはいわゆる「コミュニケーションスキル」みたいなものを習得するものではありません。この時間はコミュニケーションをテーマとするアートワークショップという、感性・表現・対話・共感・協働・共生について感じたり、考えたりする時間をつくり、それを通じて自己理解・他者理解の気持ちを育んでいくことを目的としています。

ですので、通常授業のような評価をするものではありません。友人同士という横の関係でも、先生と生徒という縦の関係でもない、言わば斜めの関係とも言える立ち位置の人によるアートワークショップという「非日常的な場面」での活動から、生徒やクラスの「今」や「変化」を観察し、見守っていきような時間になっています。

というわけで、活動の中で生徒が自分の「感覚」を通じて、自身の「感性」に気づき、他者との交流や共同作業を通じて「表現」を交換していくこと。またその楽しさを共有することで、小さな達成感を

積み上げていくこと。このことをねらいとしています。あくまでも過程が重要なのです。

毎回のワークショップでは、下の4つステップをゴールとしています。

ステップ 1. 笑顔や真剣なまなざしが見て取れるようになること。

ステップ 2. グループでの作業に参加できるようになること。

ステップ 3. 友達に自分の考えやアイデアを話せるようになること。

ステップ 4. 仲間と意見を交換し、様々な意見を汲みながら、その場の答えを作れるようになること。

しかし、それぞれは生徒個々の今の状態によるものですから、全員がステップ4を目指すわけではありません。また、評価は行わずに、講師の所感や担任・教諭の観察、生徒の感想、そしてそれらを共有する場において、継続的な視点をもって生徒一人ひとりの変化やクラス全体の雰囲気を見続けています。

人の行為というのは常に未完だと思います。なぜなら人の行為は完成が目的では無いからです。重要なのはその過程の中で誰と、何と出会ったか？そして、どのように関わったのか？です。ACTのAはアートのAです。そして、アートとはより多くの人と関わっていかうと意欲すること。それは堂々と未完をめざす、ということだと思ふのです。

「よく見るってこと」 - 2年生



2020年11月24日(火)の2年生のみなさんと。

2年生の初回は、一枚の絵を鑑賞することを通じて、「事実と解釈」「主観と共感」について考えようという難解ワークです(笑)。といっても、ワークはたのしめるように構成しているのでみなさん盛り上がっていましたし、すばらしい力を発揮している人もたくさんいました。

実際にどんなことをするのかというと、2人1組(AさんBさん)のペアになり、Aさんだけが絵を見ます。Aさんはその絵の印象を口頭でBさんに伝え、Bさんはその話をもとに絵を描き、最後に全員で本物の絵とBさんたちが描いた絵を見てみるというものです。このワークの見所は、Aさんたちが全員同じ絵を見ているのに、説明はそれぞれ違うことや、「木があった」と聞いてBさんが描く木が、Aさんのイメージと違ったりすること。また、Aさんの説明を聞いた上で、それを懸命に再現しようとするBさんもいれば、説明はあくまでも材料と捉えて好きなように描くBさんもいること。要は「みんなけっこうズれる」ということがおもしろいのです。日常の中でわたしたちは同じものを見聞きしていることが多いはずなのですが、同じようには見聞きしていないことがよくわかります。だからズれていく。みんな、そのズレを「全然違うじゃん!」と笑ってツッコみあったり、「これ似てるー」と感心したり、最後まで盛り上がっていました。

「ふちどって!」

1年生の2回目はひとりで黙々と作業を進めるソロワーク。内容はタイトルの通り、ある図形をオイルパステルでひたすらふちどっていくだけ!なのですが、その線と線の間はできるだけ隙間を作らず、みっちりとうちどってもらうので、疲れ顔の人が多数出てきます(笑)。最後は、仕上がったものを全員分黒板に並べて鑑賞。同じ形をただふちどるだけの作業なのに、仕上がったものはてんでバラバラ。そのバラバラ具合を視覚的に体感するワークです。

作業中、うまくいかないと声に出している人も多くいました。周りの目を気にしてしまう人も、もちろんいます。いわゆる「絵」を描いてるわけではないとはいえ、それがどんなものであっても、自分が作ったものや描いたものが人目に触れるというのは緊張するものですね。だからこそ、ACTを通じていつも伝えているのは「個性」つまり「個の差異」についてです。個性という言葉は「みんな違ってみんないい」というような、シンプルに肯定的なメッセージを思い浮かべる人も多いと思いますが、ACTではこう伝えています。

「個性というのはただの『ちがい』。ここにあるもの(ふちどった絵)を見てわかるように、どれが上手いとか下手とかはありません(好きとか嫌いはあるかもね)。その『ちがい』が本人を生かすときもあるけど、時には本人を苦しめることだってある。本人が望もうが望ままいがあるのが『個性』。だからこそ、それぞれのちがいを大事にね。」



2020年11月27日(金)の1年生のみなさんと。

「よく見るってこと」 - 1年生



2021年1月29日(金)の1年生のみなさんと。

予定では別のグループワークを実施するはずでしたが、感染対策のため「よく見るってこと」に変更となりました。1年生でこのワークを実施するのは初めてでしたが、みなさんののしんでくれたようです(内容は2年生と同様)。

このワークは単なる伝達ゲームのようでもありますが、みなさんの活動を眺めていると、とても奥深いなあと感じます。それぞれが「伝えようとする」「理解しようとする」中で様々な感情が沸き起こり、そうした実感を伴った体験になるからこそ、学びにつながるのだと思います。

絵の中にあるオレンジ色の丸いものは「太陽」「いくら」「目玉焼き」「ドラゴンボール」等、人によって言い表し方が違いました。同じ絵を見ても受け取る感性はさまざまでおもしろいですね。真ん中に描かれている男女を「リア充」と表現した子、鶏のような動物のことを「チキン」と伝えたら、相手がグリルチキンを描いたペアも(笑)。伝えるのって難しい！

「仮説と仮設 ～ペーパータワーをたてよう！～」

2年生最後のワークは恒例の「仮説と仮設～ペーパータワーをたてよう」です。グループごとに決められた枚数のA4コピー用紙だけを使って構造物を作り(その他の材料・道具は使いません)その高さを競うゲーム。こうすればたつんじゃないか？と仮説をたて、仮設し、崩れたらまた仮設…仮設…とカセットをひたすら繰り返すトライアンドエラー(とりあえずやってまた考えよう)の時間です。

いつもは教室ですが、今回は感染対策のため武道場に変更しての実施でした。教室で実施する時とはまた違う雰囲気、広いぶん全体的に一体感が出づらい面もあるように見えたが、グループの間隔が開いているおかげで集中して取り組んでいる様子もありましたし、タワーの形状もいつもに増して多様性に富んでいました。神殿の柱のように頑丈にしていたり、メガホンのような筒をひたすら重ねた形だったり。間隔が開いていたことで他のグループを気にせず独自に追究できたことが関係したのかもしれない。

普段は意見を言わない人がしきる姿があったり、最初はいまいち気が乗らない様子だった人もタワーが高くなってくると積極的に参加していたり、いろんなドラマが生まれていたようです。ACTという機会を通して、新しい自分を見つけたり、自分の気持ちと向き合うきっかけにつながると良いなと思います。自分を知ること、他者とのコミュニケーションの一歩ですよ。



2021年2月9日(火)の2年生のみなさんと。

「たのしい熱帯魚」



2021年2月12日(金)の8組のみなさんと。

8組の一年の締めくくりは毎年ダンボールハウス作りなのですが、感染対策で内容を変更し、「たのしい熱帯魚」をすることになりました。素材はキラキラ紙、布、スパンコール、ボタン、リボン、ポンポン、王冠など様々用意したのですが、大人の発想を超えた素材の使い方に惚れ惚れ！見ていだけで本当におもしろかったです。

完成品の見本はなしで臨みましたが、結果的にその方が良かったようです。講師が作り方だけを見せることで、シンプルに工程を理解し、完成形にとらわれずに取り組んでいたようでした。中には自分のイメージする熱帯魚の形を描くパートで悩んでしまったり、うまく描けずに戸惑ってしまう人もいましたが、「うまく描けない」と思っても、次の貼っていく作業に入ると「自分の選んだ素材を貼って楽しい」という風に気持ちを切り替えられており、自信につながっているようでした。最後はみんなで窓に展示して、みんなの湯河原水族館を鑑賞しました。「きれいにできた」という感想が多く、みなさん大満足！



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！